加賀市ビジョン（案）に対する意見公募の結果について

加賀市ビジョン（案）について、下記のとおり、意見公募（パブリックコメント）を行ったところ、21 件のご意見が寄せられました。

記

【意見公募の概要】

案 件 名	加賀市ビジョン（案）
公募期間	令和 8 年 10 月 7 日(水)～令和 8 年 10 月 20 日(火)
供覧資料	加賀市ビジョン（案）、加賀市ビジョン（デザイン案）
周知方法	市役所、行政サービスセンター、各図書館、市内地区会館、市ホームページにて資料を供覧
提出方法	LoGo フォーム、持参、郵送、ファクス、電子メールいずれかの方法

【意見公募の結果】

1 意見等の提出者数　8 名

2 意見等の件数　21 件

内訳（1 件提出 4 名、2 件提出 1 名、3 件提出 1 名、6 件提出 2 名）

（詳細は別紙のとおり）

意見公募で寄せられた加賀市ビジョン（案）に対する意見一覧

【加賀市ビジョン（案）の内容に対するご意見】

番号	ご意見	市の考え方
1	○財政の持続可能性 ○市政運営の透明性 は理念体系にもあり、財政運営の方針として示されている。また、策定委員会では、KGI・KPI の設定も議論されていた。 しかし､個々の事業が実現可能なのか、限られた財源の中で実行出来る事業に落とし込めているのか、疑問である。 各重点テーマについて、数値目標と、予算を対応させることが重要である。 今回のビジョンは､2030 迄であり期間が短い為､より具体的な内容を知りたい。 そして毎年か、2 年事の中間評価をしていただきたい。	加賀市ビジョンは、今後のまちづくりの方向性を示す羅針盤として位置付けており、具体な施策等への落とし込みまでを行うものとはしておりません。 施策等への落とし込みは、今後、ビジョンを基に、財政状況を踏まえながら行っていくこととしております。また、数値目標につきましては、施策等への落とし込みに合わせて、施策等ごとに設定し、毎年一度、評価を行うことを検討しております。
2	加賀市が目指す将来に向けたビジョンは理解できます｡方向性も賛成しますが、実行性を高めるために「4 つの道しるべ」の中に、具体的な数値目標を明記し達成度を評価する仕組みを明確にする事が必要だと思います。 そして、定期的に市民に向けて進捗状況の公表をお願いします。	加賀市ビジョンにおきましては、ビジョンの実効性を高めるため、４つの道しるべごとではなく、ビジョンを基に設定した施策等ごとに目標を定め、評価をする仕組みを考えております。また、評価結果を踏まえて施策等の改善や見直しを図るとともに、市政運営の透明性を担保しながら、ビジョンの実現に向けて推進してまいります。
3	08 ビジョンの実現に向けて 4 つの道しるべの先に、具体的な施策を設定とありますが、これらは既に計画されている計画（例、都市計画マスタープランや産業振興行動計画）につながっていくのでしょうか？ ビジョンの実現に向けた進め方に、具体的な施策を示して、市民がわかりやすい羅針盤となる事を期待します。 そして、既存の計画についても、市民の声が充分に反映される事を望みます。それが、市政運営の原則を守って実行される加賀市ビジョンになると思います。	加賀市ビジョンは、市政運営の方向性を示す「羅針盤」として位置付けており、4 つの道しるべに基づく取組については、既存の各分野の計画と連携しながら進めていくこととしております。 具体的な施策等については、各分野の個別計画や毎年度の予算編成等を通じて具体化するとともに、ビジョンとのつながりや取組状況を市民の皆さまに分かりやすくお伝えしていくことが重要であると考えております。また、既存の計画についても、見直しの機会を捉え、市民の皆さまのご意見を丁寧に伺いながら、市民参加のもとで施策を推進してまいります。

番号	ご意見	市の考え方
4	ビジョンとは、大きな将来像なので、評価可能な表現でないことは仕方がありません。だから、それを目標レベルに落として評価可能にしないと、本当にどこの市でも当てはまる様な具体性に乏しいものになってしまいます。	加賀市ビジョンは、今後のまちづくりの方向性を示す羅針盤として位置付けており、具体な施策等への落とし込みまでを行うものとはしておりません。 施策等への落とし込みは、今後、ビジョンを基に、財政状況を踏まえながら行っていくこととしております。また、数値目標につきましては、施策等への落とし込みに合わせて、施策等ごとに設定し、毎年一度、評価を行うことを検討しております。
5	ビジョンの実現性を判断するためにも、以下の項目について、公表していただきたい。 ①中期財政の見通し ②財政調整基金、市債の将来見通し ③重点事業の費用一覧 ④公共施設の更新計画 またその為には、前市政の財源に関する見直しをお願いしたい。見直し検討委員会の立ち上げを希望する。市政運営の透明性と、過去から学ぶ為にも。	令和 2 年度に策定し、その後時点修正を行ってきた中期財政計画による財政見通し、財政調整基金の残高及び市債の将来見通しのほか、毎年度の予算における主要事業の内容・事業費、公共施設マネジメントに関する計画などにつきましては、ホームページにて公表しているところです。このうち中期財政計画につきましては、現在、新たに財政健全化対策を盛り込んだものを策定中であり、年内の公表を予定しております。 また、将来にわたり持続可能な行財政運営を進めるため、今年度に既存の事業について事業継続評価を行い、今後の方向性を改めて検討したほか、次年度の予算編成に当たっても、これまで以上に厳しく事業の優先順位を考慮し、一層の経費削減を図るとともに、事業の廃止・縮小を含む抜本的な見直しを徹底し、新たな財源の確保や民間活力の積極的な活用を図ることとし、効率的な財政運営に努めてまいります。

番号	ご意見	市の考え方
6	ビジョンを作成する前に今までの市政の検証をした方が良かったのでは。その方が方向性だけでなくもっと具体的な問題点、継続すべきことがハッキリしたと思いました。今からでもできたらいいかと。そのことによってもっと具体的な施策がハッキリして行政が縦割りの枠を超えて共通の問題を認識して協力体制が作りやすくなるのでは。また市民にとっても何が協力できるかわかりやすくなると思いました。具体的なことがあまり見えないので、紙の上での理想論だけのように感じてしまいました。	ビジョンの策定は、再生プロジェクト検討会、事業継続評価とともに、再生プロジェクトの一連の取組として実施しております。 これまでの政策評価は、その中の事業継続評価で行っており、策定中のビジョンはその結果を反映したものとしております。 なお、加賀市ビジョン（案）におきましても、分野の垣根を越えた施策を実施することについて掲げております。 また、加賀市ビジョンは、今後のまちづくりの方向性を示す羅針盤として位置付けており、具体な施策等への落とし込みまでを行うものとはしておりません。 施策等への落とし込みは、今後、ビジョンを基に、財政状況を踏まえながら行っていくこととしております。
7	前市政の総括･検証を早急にやること。その結果については、市民に公開し、山田市政のビジョンに取り入れる事が重要です。市民の負担増になるようなことを止める事。これらの具体的解決策を盛り込んだビジョンにしてください。	ビジョンの策定は、再生プロジェクト検討会、事業継続評価とともに、再生プロジェクトの一連の取組として実施しております。 これまでの政策評価は、その中の事業継続評価で行っており、策定中のビジョンはその結果を反映したものとしております。 また、個別事業の継続や見直しについては、事業の必要性や費用対効果、財政負担などを総合的に勘案し、判断してまいります。 加賀市ビジョンは、個別事業の具体的な対応方針を示すものではなく、市が目指す将来像やまちづくりの方向性を示す羅針盤であることから、ご提案の内容を個別に盛り込むことは考えておりません。

番号	ご意見	市の考え方
8	先ず第一番目に「市政運営の原則」を掲げられたことに心から敬意を表します。「市政運営の透明性」「財政の持続可能性」全てのビジョンのスタートはこの 2 つの原則に基づいてなされるべきと痛感しております。 〇過去に学び、未来につなげるために、ビジョンの第一番目に前市政の透明性と財政持続可能性を検証することを提案します。 〇今の加賀市の身の丈に合った計画、既存建物の利活用、本当に必要なものは何か、優先順位を市民と考えるボトムアップの実行を提案します。	市政運営の透明性の確保や財政の持続可能性は、今後のまちづくりを進めるうえで重要な視点であると認識しております。 これまでの市政の取組については、再生プロジェクトの一環である事業継続評価において検証を行い、その結果を踏まえてビジョンを策定しております。 そのため、過去の市政の検証をビジョンの第一に位置付けるのではなく、検証結果を今後の市政運営に生かしていくこととしております。
9	「市政運営の原則」で、透明性について、分かりやすく示します、市民とともに進めていきます。とありますが、その具体的な方法を教えて下さい。	行政評価の仕組みを活用するほか、タウンミーティングなどの機会を通して、市の施策や事業の内容、政策決定の考え方などについて、市民の皆さまに分かりやすくお伝えしてまいります。また、デジタル目安箱など、市民の皆さまからのご意見やご提案を丁寧に受け止め、市政運営に生かしてまいります。
10	「ビジョンの実現に向けて」 進め方の図式に、市民の関わり方も含めてほしいと思います。	市民の関わり方につきましては、施策等ごとに性質が異なるため一概にお示しすることは難しいものと考えておりますが、市政運営の原則に掲げる市政運営の透明性を念頭におき、実施時をはじめ、タウンミーティングやデジタル目安箱を通じて得た意見を踏まえた政策立案や、市民参加型のイベント等におきましては、アンケート結果を踏まえた評価を行うことなどにより、施策等の見直し、改善を図ることとなるため、全体に掛かるものと考えております。

番号	ご意見	市の考え方
11	加賀市ビジョン理念体系のイラストの中で、「市政運営の透明性」と「財政運営の持続可能性」は土台となる重要な部分だと思います。 それをもっと、視覚でもアピールして欲しいです。土台（しっかりした基盤、揺るがないもの）は強固な基盤で市政運営の根幹となるものであることを、視覚的に表現する事は欠かせないと思います。	「市政運営の透明性」と「財政の持続可能性」は、市政運営の根幹をなす重要な原則として位置付けています。理念体系のイラストでは、これらを左右に配置することで、全体を支える基盤としての役割を表現しております。土台部分を強調することは、イラスト全体のバランスにも影響することから、理念体系全体の分かりやすさやデザインとの調和を考慮し、現在の表現を基本としたいと考えております。

【今後の取組に対してのご意見】

12	いままで何回かタウンミーティングを実施していただきました。それで大事と思うものを、即、実施してください。今後のタウンミーティングは走りながら実施してください。加賀市内、さほど意見は違わないとおもいます。	ご意見としてお受けし、今後の取組の参考とさせていただきます。
13	健全な財政運営を行う為には、前市政の財政運営についての評価を示して欲しいです。	ご意見としてお受けし、今後の取組の参考とさせていただきます。
14	―住民主体のボトムアップと、市民・行政の協働による実効性ある市政運営について― 市職員の意識改革とボトムアップの仕組み 17 ページには地域の担い手を育むこと、26 ページには市民や地域の声を受け止め、市民とともに開かれた市政運営を進めることが示されています。これを具体化するため､次の取り組みを求めます。 ① 実践的な職員研修の実施 市民との対話、協働による政策形成、意見調整、合意形成などを学ぶ研修を実施し、職員が住民主体のボトムアップを実践できるようにすること。 ② 市民と職員によるモデル事業の実施 地域課題や市民の提案を出発点に、課題の発見から解決策の検討、実践、振り返りまでを市民と職員が協働して進めること。 ③ 意見の反映状況の公表 市民の意見を政策にどのように反映したか、反映できなかった場合はその理由を分かりやすく公表すること。 ④ 成果の検証と全庁展開 モデル事業の成果と課題を検証し、改善を重ねたうえで、効果のある取り組み	ご意見としてお受けし、今後の取組の参考とさせていただきます。

	を他地域や各部署に広げること。市民の声を聞くだけでなく、市民と行政がともに考え、行動し、成果を生み出す市政への転換を期待します。	
15	環境問題に対する市民と行政の協働 9 ページには自然環境の保全、25 ページには生活基盤の維持やごみ処理が示されています。気候変動をはじめとする環境問題は、今すぐ取り組むべき課題です。温室効果ガスの削減、省エネルギー、緑地の保全、ごみの減量、猛暑や豪雨への備えについて、既存の環境関連計画との整合を図りながら、具体的な目標と実行計画を明確にすることを求めます。また、市民や事業者からアイデアや参加を募り、地域単位のモデル事業を進めることを提案します。行政は、情報提供、専門的助言、必要な支援を行い、市民の自主的な活動を後押しすべきです。取り組みの実施状況と成果を公表し、検証と改善を重ねることで、環境問題を市民と行政が役割分担して解決する市政運営を実現してください。	ご意見としてお受けし、今後の取組の参考とさせていただきます。
16	地域の安全・安心と環境課題の解決に向けた連携 23 ページには防災、防犯、交通事故、有害鳥獣対策などにおける地域や関係機関との連携、25 ページには生活基盤の維持管理やごみ処理などが示されています。 地域課題について、市民が相談先や担当部署を把握しにくい場合があるため、次の仕組みを整えることを求めます。 ① 市民が発見した課題を受け付け、担当部署と対応方針を明確にすること。 ② 複数部署や関係機関にまたがる課題は、行政が調整役となって対応すること。 ③ 所有者・管理者の責任や法令上の対応	ご意見としてお受けし、今後の取組の参考とさせていただきます。

	を確認し、必要に応じて関係機関と連携すること。 ④ 対応状況と今後の見通しを、可能な範囲で市民に説明すること。 ⑤ 市民の自主的な活動を尊重し、専門知識や情報提供など必要な支援を行うこと。 　市民の気づきを出発点に、行政が関係部署や機関を調整し、解決につなげる仕組みが必要です。 個別対応にとどまらず、市民と行政が協働して地域課題を解決できる仕組みを市全体で整備してください。	
17	施策の優先順位、予算、成果の検証 　26 ページには持続可能な財政運営と政策決定の根拠の明示、27 ページには施策や予算計画への反映と進捗・効果の検証が示されています。限られた財源と人員でビジョンを実現するため、各施策について、可能な限り次の事項を明確にすることを求めます。 ① 解決を目指す地域課題 ② 優先する理由 ③ 実施時期、担当部署、実施方法 ④ 必要な予算と人員の確保方法 ⑤ 成果の判断基準、検証方法、改善方針 　成果は、実施件数や参加人数だけでなく、市民生活や地域課題が改善したかという視点で評価してください。検証結果を市民に分かりやすく公表し、必要に応じて施策を見直すことも求めます。	ご意見としてお受けし、今後の取組の参考とさせていただきます。

番号	ご意見	市の考え方
18	幅広い市民の声を政策に反映する仕組み 26 ページに示された開かれた市政運営を実現するには、説明会や意見募集だけでなく、参加しにくい人や発言しにくい人の声も把握する必要があります。地域の会合に参加しにくい人、意見を言葉にすることが難しい人、子ども、福祉サービスを利用する人などに対し、アンケート、個別聞き取り、少人数の対話など、課題に応じた方法を工夫してください。集めた意見をどのように整理し、政策に反映したかを公表するとともに、反映できなかった場合はその理由を説明することを求めます。意見聴取から政策への反映、結果の説明までを一連の仕組みとして整備してください。	ご意見としてお受けし、今後の取組の参考とさせていただきます。
19	加賀市ビジョン（案）の理念を実現するには、具体的な実践と検証を積み重ねることが不可欠です。特に、次の 3 点を重点的に進めることを提案します。 - 市職員の意識改革と実践的な研修、市民と職員が協働するモデル事業の実施 - 環境問題に対する具体的な目標と実行計画の設定、市民・事業者との協働 - 市民の気づきや提案を地域課題の解決につなげる、行政の支援・調整の仕組みづくり あわせて、施策の優先順位、実施体制、予算、成果の検証方法を明確にし、進捗と結果を市民に分かりやすく公表してください。山田市長が掲げる住民主体のボトムアップを市政運営に具体化し、市民と行政が地域課題を発見し、考え、行動し、改善していく加賀市の実現を求めます。	ご意見としてお受けし、今後の取組の参考とさせていただきます。

番号	ご意見	市の考え方
20	先ずは、前市政の評価をして、そこから出発すべきと考えます。加賀市再生プロジェクト検討会では、何故、現市長の公約からスタートするのでしょうか？これまでの施策を評価してこそ、再生へと繋がるのではないでしょうか？とても、疑問でした。 現市長に市民が大きな期待を込めて、市政への関心を醸成させて、この一年過ごしました。ですが、『市が決めたことに従いなさい！』と言う従来の姿勢そのものです。 本来、市の職員が市民の声を聞いて行動に移すべきです。	ご意見としてお受けし、今後の取組の参考とさせていただきます。
21	加賀市ならではの歴史的遺産に光が当たり始めていて、嬉しく思います。新しいものを次々と開拓していくことも、この時代ですから必要な事もあるのも事実です。 ですが、今あるものを、丁寧に手を入れて保全に努め活用する事も大事と思います。 過去に多額の費用を投じて整備した施設等、日本一をめざす必要はないと思います。しっかり検証して是正すべきです。地に足をつけた行政を切に願います。 2000 年介護保険法が始まった時、確か加賀市の介護保険料は石川県 1 位でした。固定資産税も然りです。実は、人口減の一因でもあります。 貴重な農地を捨ててまで、新しい建物を建てることに時間と労力を使っている場合ではありません。加賀温泉駅を降りた際の田園風景は加賀の独自性でもあります。災害の頻発、害獣の出没、市民の足、教育関連等々、課題山積です。 本当に市民にとって大切な地に足のついた行政で、加賀市ビジョンを実現して下さい。 素晴らしい加賀市ビジョンが、正義の行政で実現することを祈ります。	ご意見としてお受けし、今後の取組の参考とさせていただきます。

【参考ご意見（市民等以外の方の意見につきまして参考ご意見とさせていただきます）】

番号	意見の概要
1	若い世代・子育て世帯の移住促進と、地域経済の活性化について 加賀市が今後も活気ある街であり続けるためには、県外から 20～30 代の夫婦や子育て世帯を呼び込み、長く住み続けてもらうことが重要だと考えます。 そのために、以下の取り組みを進めていただきたいです。 1. 若い世代が安定して働ける企業の誘致と、地元企業への就職支援 2. 住宅取得や子育てにかかる経済的負担の軽減 3. 大型商業施設や飲食店、子どもが遊べる施設など、日常生活の利便性を高める取り組み 4. 移住希望者に対し、仕事・住まい・子育て環境をまとめて案内する支援 5. 若年世帯の転入数や定住率を継続的に確認し、施策の効果を公表する仕組み 観光客を増やすだけでなく、住民そのものが増え、地域で消費や雇用が生まれる好循環をつくってほしいです。若い人や子育て世帯が「加賀市に住みたい」と思える街づくりを期待しています。